

<p>主に関係する 領域・教科</p>	<p>算数【小学部3段階 B 図形 ア(ア)①】</p>	<p>氏名：中谷 亮介</p>
<p>単元名</p>	<p>かたちであそぼう</p>	
<p>ねらい</p>	<p>色板を用いて、三角や四角を構成することができる。</p>	
<p><b>授業の説明</b></p> <p>小学校1年生の、形あそびを参考に授業を構成した。小単元を3時間構成とし、「三角を使って四角をつくる。」「三角を使って大きな三角をつくる。」「三角を4枚使って大きな四角をつくる。」と、1時間で行う内容を、ねらいをしばって3時間で行った。</p> <p>導入：前時の振り返りをし、ブロックを使って課題について個別に考え、発表する。</p> <p>展開：個人活動で形づくりをし、どのように作ったのかを発表する。</p> <p>終末：課題に沿った振り返りをする。 「三角を使って四角」→全員で、三角2枚を使って四角にしたものを黒板に貼る。</p>		
<p>工夫したポイント</p>		<p>使用教材など</p>
<p>(箇条書きで記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒塗りのイラストを用意して、取り組みやすいようにした。</li> <li>・発表で、他の児童が手元を見やすくするために、iPadをミラーリングしてテレビに映した。 (発表では言葉での説明が難しい児童が多いため、<u>自分の考えを動作で周りに伝えるようにしたかったため</u>)</li> <li>・「三角4枚で大きな四角」では、「直角部分を中心に集めて作る」ことが重要なポイントとなるため、黒塗り部分に一か所線を入れ、難しい場合の手立てとした。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレイルームのブロック</li> <li>・iPad</li> <li>・テレビ</li> <li>・形づくりセット</li> <li>・流れ図</li> <li>・</li> </ul>

<p>実践</p>	<p>(授業の様子などわかりやすく説明 箇条書きで記入)</p> <p>(裏面使用も可)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「三角を使って四角」では、斜辺を合わせて四角にすることが4人とも出来ていた。</li> <li>・形づくりでは、三角をどこに置いたらよいか色板を回しながら考え、最初は少し時間がかかる子はいたが、作ることができていた。</li> <li>・三角を使って四角を作るとき、置き方は児童によって異なるが、どれも四角になっていることを押さえられたのではないかと思う。</li> <li>・振り返りでは、全員でたくさんの形をつくらうと楽しみながら行い、「せんせいも」とカードを渡して促す様子も見られた。</li> </ul>
-----------	---

効果・改善点等

(効果)

- ・ iPad を使って手元をテレビに映したことで、他の児童の発表も注目していた。
- ・ 個別に色板とホワイトボードを用意していたことによって、自分でじっくり考える時間をとることができた。
- ・ 作るイラストが決まっているため、見通しをもって取り組むことができたと思う。

(改善点)

- ・ 1, 2時間目の内容を流れ図として残しておいた。しかし、活動中に確認をしている様子は見られなかった。「前時の内容を使って」という発想はまだ難しい。
- ・ 3段階の内容を取り扱ったが、実際に算数の図形領域の2段階に書かれている内容をすべて実施していないため、それらを実施してから取り組むという形が望ましいかもしれない。(用途に応じた仲間集め、形を描く)